

宮繕工事における週休2日工事の評価の運用について（改定見え消し版）

◎対象

長崎県の営繕工事における週休2日促進工事試行要領により試行対象として発注した全ての工事を対象とする。

◎工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表の取扱い

○(主任監督員) 別紙-1-2① 2.施工状況 II.工程管理において、以下の項目で評価する。

工事成績採点の検査項目の検査項目別運用表					(主任監督員)		
検査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	II. 工程管理	<input type="checkbox"/> 工程管理が優れている	<input type="checkbox"/> 工程管理が良好である	<input type="checkbox"/> 工程管理が適切である	<input checked="" type="checkbox"/> 工程管理がやや不適切である	<input type="checkbox"/> 工程管理が不適切である	
評価対象項目とする場合は、左の□をチェックする。 また、その内容が実施されている場合は右の□をチェックする。 （「」は必須項目）		<p>〔評価対象項目〕</p> <p>① <input type="checkbox"/> 実施工程が工事手順に提出され、既定工事との範囲も適切に行っている。</p> <p>② <input checked="" type="checkbox"/> 実施工程と詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。</p> <p>③ <input checked="" type="checkbox"/> 工程のフォローアップを実施し、施工者の責により適切な施工段階及び施工箇所等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがない。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 現場または施工工程の変更への対応が構造的で、危険が早い。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 工程に係る各種規制等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 請負者の書による確認書類が作成がない。</p> <p>⑦ <input checked="" type="checkbox"/> 休日・代休の確保を行っている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> 過度往來（入居者・顧客等を含む）との競争を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> □ 施工プロセス（チェック）のうち、工程管理について文書通知に対する改善が速やかに実施されている</p>		<p>□ 工程管理に関する改善指示から文書による改善指示を行った。</p>		<p>□ 工程管理に関して、監査職員からの文書による改善指示が示された。</p>	
	10. <input type="checkbox"/> その他	<p>① <input checked="" type="checkbox"/> 休日・代休の確保を行っている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> その他</p>	<p>※4週6休目で評論（4週5休目以下は評論しない）</p>		上記該当があれば……d	上記該当があれば……e	
		理由:					
		該当項目が90%以上……a		1) 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は左の□を空白とする。			
		該当項目が80%以上90%未満……b		2) 刪除項目のあらじ場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。			
		該当項目が60%以上80%未満……c		3) 評価率(%) = (○)評価数 / (□) 対象評価項目数 × 100			
		該当項目が60%未満……d					

⑦ ■ □ 休日・代休の確保を行っている。 ※ 4週6休以上で評価（4週5休以下は評価しない）

⑩ □□その他 理由：4週8休以上を実施 ※4週8休以上で評価

○(主任監督員) 別紙-1-2②・③ 5.創意工夫 | 1.創意工夫 において、以下の項目で評価する。

<p>当面運用しない</p> <p><新技術活用></p>	<p>●その他</p> <p>〈新技術活用〉※新技術に関する下記ら項目での加点は最大3点とする。</p> <p>以下の項目の評価にあたっては、活用効果調査表の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方による全ての活用効果調査表・新技術活用計画書・実施報告書等を確認した上で評価する。ただし、加点対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加点措置を行わないものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 〔該当技術数： 〕 NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。(3点) □ 〔該当技術数： 〕 NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認でき。(2点) □ 〔該当技術数： 〕 NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が從来技術と同程度である。(1点) □ 〔該当技術数： 〕 NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術（「有用とされる技術」を除く）を活用し、活用の効果が相当程度確認でき。(2点) □ 〔該当技術数： 〕 NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術（「有用とされる技術」を除く）を活用し、活用の効果が一定程度確認でき。(1点) <p>※ここで「有用とされる技術」とは、「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で定める「活用促進技術」、「推奨技術」、「推奨技術」、「評価促進技術」等をいう。</p> <p>※複数の技術評価にあたっては、かつようした技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、最大3点の加点とする。ふくすうの技術が同一の評価項目に該当した場合、該当技術数に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価の点数とするが、この場合も最大3点の加点とする。</p> <p>〈その他〉</p> <p>□ その他 理由： 理由：週休2日（4週8休以上）を実施した工事。</p> <p>※該工事で4週8休以上を実施している場合に評価。</p>
<p>(最大 7点)</p> <p>評点： 0点</p>	<p>詳細評価内容：</p>

□その他 理由:週休2日(4週8休以上)の確保に向けた企業の取り組みが図られているを実施した工事。

※週休2日の確保の評価ではなく、企業（元請のみ）として週休2日確保に向けた取り組みを行い、

当該工事で4週8休以上を実施している場合に評価。

○(担当課長) 別紙-1-3① 2.施工状況 II.工程管理において、以下の項目で評価する。

工事成績採点の検査項目の検査項目別運用表						(担当課長)
検査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	<input type="checkbox"/> 工程管理が優れている	<input type="checkbox"/> 工程管理が良好である	<input checked="" type="checkbox"/> 工程管理が適切である	<input type="checkbox"/> 工程管理がやや不適切である	<input type="checkbox"/> 工程管理が不適切である
該当する項目の□をチェックする。		<p>●下記の該当項目をチェックしたうえで上欄に総合評価を行なうこと。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 ② <input type="checkbox"/> 諸段階は同一現場の他仕事等との種横的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 ③ <input type="checkbox"/> 近隣住民（入居者署名を記載）の説明を構築的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 ④ <input type="checkbox"/> 配置技術者（班頭代理人等）の積極的または工程管理の姿勢が見られた。 ⑤ <input type="checkbox"/> その他の理由由 ⑥ <input type="checkbox"/> 配置技術者（班頭代理人等）の積極的または工程管理の姿勢が見られた。 ⑦ <input type="checkbox"/> その他理由由 </p>				

④ □ 配置技術者（現場代理人等）の積極的な工程管理の姿勢が見られた。

※4週8休以上で評価

⑤ □ その他 理由：4週8休以上を実施

※4週8休以上で評価